

# 国語 読解の名人 基礎編

## ■はじめに

国語の勉強というと「字がいっぱいあって読むだけでいやになる。」とか、「いくらやってもできるようにならない。」という声をよく聞きます。実際に、国語の長文読解を得意にするには、ただやみくもに問題量をこなすだけでは解決できません。一番効果的な勉強法は、文章の流れを正確につかんだり、文の構造を把握するトレーニングを徹底して行うことです。

そこで本書では、文と文をつなぐ働きをする〈接続語〉や、〈指示語〉が指す内容をしっかりと把握できるように、その基礎トレーニングを充実させています。そのため、本書を学習することにより、文章を読み解くための土台をつくることができます。

本書を使って効果を上げるには、次の5つの点に注意を払い学習していきましょう。

## ■本書の使い方

① 「要点」は、単元ごとの大切なことがわかりやすく説明してあります。まず、ここをしっかり読みましょう。

次に、「例文」を読んで、「要点」の内容を理解しましょう。

② 「練習」は、「要点」「例文」に合わせた練習問題です。この問題をする、「要点」の内容が身につきます。わからないときは、「要点」「例文」をもう一度読み直し、完答しましょう。

③ 「わざあり」コーナーには、「練習」を解くためのコツが述べられています。これを利用すると長文読解に役立ちます。また、「注意しよう」コーナーには、「練習」を解く上での注意が書かれていますので、参考にして下さい。

④ 「品詞紹介」を学ぶと国文法の学習に役立ちます。しっかり読んで大切なところにはマーカーなどを引きましょう。

⑤ 「覚えておこう」コーナーには、国語を学習する上で覚えておくべき知識が載っています。また、「知ってるかな」コーナーには、本文に関連した余談などが盛り込まれています。これらも知っておくと得るので、しっかり読んで下さい。

1 接続語に強くなるよう

① 接続語ってなんだろう

② 順接と逆接の接続語

③ 並立や説明の接続語

④ 選択・転換の接続語

2 指示語に強くなるよう

① 指示語ってなんだろう

② 何を指しているのかな？

③ 指示語の指す内容をまとめよう

3 要旨をまとめよう

① 段落と要点

② 段落の役割

③ 要約しよう

① つなぐ言葉 4

① 原因と結果 6

② 順接 6

③ 逆接 8

① 並立 10

② 添加 10

③ 説明・補足 12

① 選択・対比 14

② 転換 16

① 指示語とは 18

② 指示語の働き① 20

③ 指示語の働き② 22

① 単語や短い語句を指す指示語 24

② 答え方に工夫が必要な指示語 26

① 文や文の集まりを指す指示語 28

② 広い範囲を指す指示語 32

③ 指示内容のまとめ方 36

① 段落 40

② 事実と意見 42

③ 大切な文の見分け方① 44

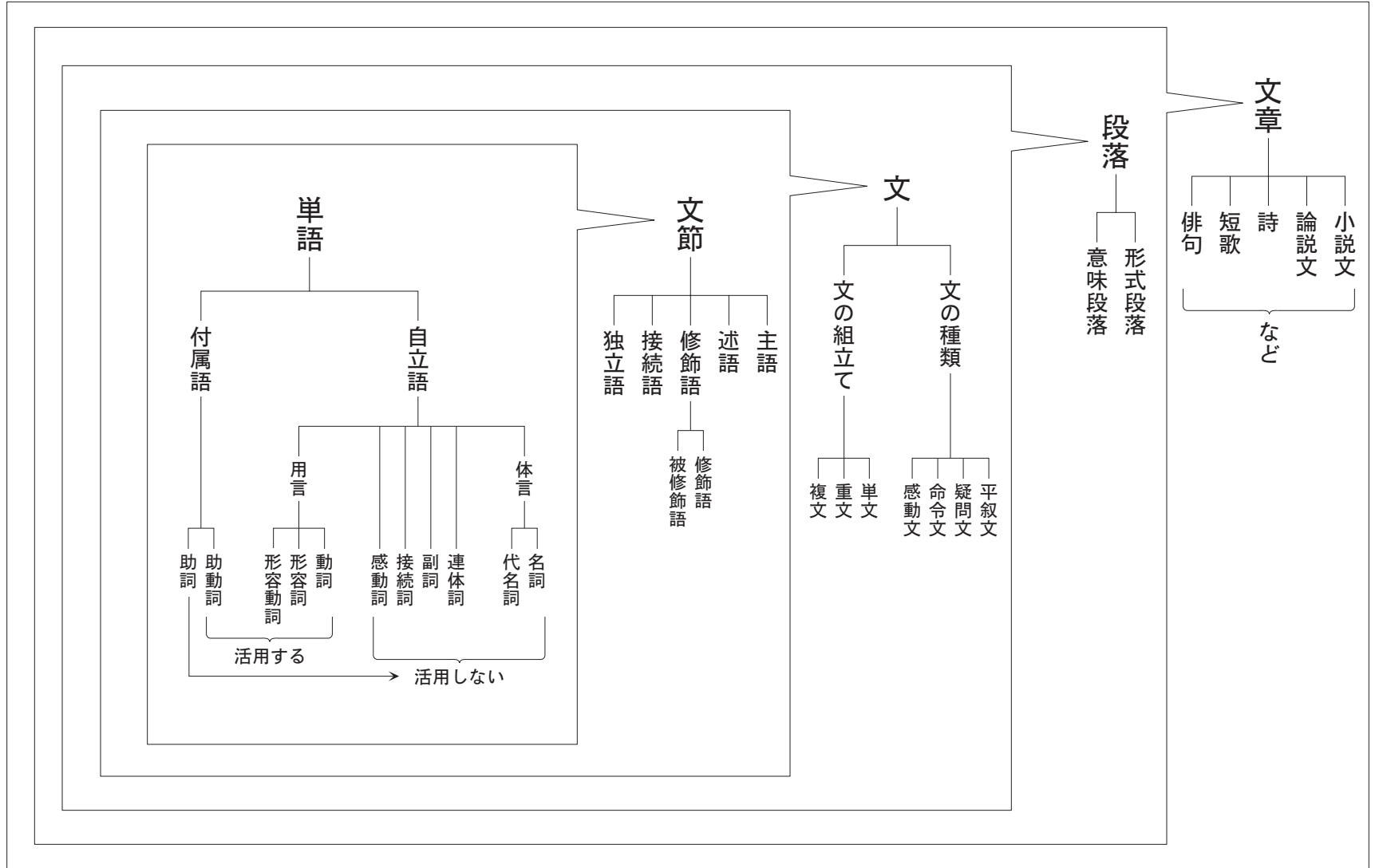
④ 大切な文の見分け方② 48

① 段落構成 52

① 要約 58



■ 文章のしくみ (略図)



## 要点

- ① すなわち・つまり：前文を言い換えたり、要約し（まとめ）たりする。
- ② なぜなら：前文の理由をつけ加える。
- ③ だって：言いわけや相手に対する反対理由を述べる。
- ④ ただ・ただし：例外や条件などをつけ加える。
- ⑤ ちなみに：前のことさらに関連したことをついでにつけ加える。
- ⑥ もっとも・とはいえ：前のことさらに反することをつけ加える。

## 【例文】

- ① そこには、母のお兄さん、つまりおじさんが農業をして暮らしている。
- ② 心のこもったあいさつというのは、とても大切なものだ。なぜならそれは、人間関係をスムーズにする潤滑油じゆんかつゆのようなものだからだ。
- ③ 私は裁縫さいほうができないの。だって、だれも教えてくれないんだもの。
- ④ 本気なら応援しよう。ただし、いいかげんな気持ちならやめておけ。
- ⑤ 今でも、こうした風習が残っている地域があります。ちなみに、私の故郷では、今も正月に獅子舞ししまが家々をまわって歩きます。
- ⑥ 生徒は制服に反対だ。もっとも、全員がそうだというのではない。

※潤滑油：機械などのまさつを防ぎ、なめらかに動かすための油分。

風習：習慣。



## 練習1

次の文章中のすべての接続語を、で囲みなさい。また、その中に説明・補足の接続語があれば（ ）に書きなさい。

欧米にも我々のような社会生活を営むうえでの「常識」というのは当然ある。そしてそれは日本人の「常識」としばしば食い違うのもおもしろい。たとえば、私があるアメリカ人に大変世話になって、その次にその人の妹に会った。彼にはとても世話になったのでよろしく伝えてください、と頼んだ。日本人なら至極あたり前のことだ。ところがその妹はつっけんどんに、私と兄とは別々の人間で関係ない。そのようなことを頼まれるのは迷惑なことだ、と言うのでびっくりした。アメリカ人にとってはそんなことを言われるのは、常識外れということらしい。私はつくづく難しいものだと思った。

「郷に入れば郷に従え」という。つまり、「常識」というのは、そのくらい地域や家庭によって違う、ということだ。

説明・補足（

（金田一春彦『日本語を反省してみませんか』より）



## 「すなわち」「つまり」のあとが大切！

「すなわち」「つまり」には、今まで述べてきたことを要約する働きがある。そう、だからそのあとには筆者が最も言いたいことが、かくされていることが多い。

【例】 いろいろと君の言い訳をたくさん聞いてきたが、つまり君は、こう言いたいんだな、「自分は悪くない。」と。



### 練習 2

次の各文章の（ ）にあてはまる接続語を  から選び、記号で答えなさい。

1 「今日はりんごが好きか嫌いかで討論する。りんごがいかに好きか、りんごがいかに嫌いか、とうとうと述べてくれ。」と先生が言われました。でも、そのあとに一言つけ加えたんです。「（ ）りんごが好きな人たちは、りんごが嫌いという立場で話してくれ。りんごが嫌いな人たちは、りんごが好きという立場で話してくれ。」

※とうとうと：しゃべるときよどみのない様子。

2 「眠る」ということは、しばしば「働いていない」という意味で使われます。たとえば、「彼の才能はまだ眠っている」というふうにして、起きてはいるがなにもしていない、という状態を表すのです。また、むだに存在しているだけ、という否定的な意味も込められていますし、（ ）、死んだも同然という受け取りかたもされています。ぐうたらな私たち凡人は、ふつうにちゃんと起きているにもかかわらず、賢人や聖人から「目を覚ましなさい！」と叱られるのも無理はありません。

※凡人：すぐれたところのない人、ふつうの人。 賢人：かしこい人。

聖人：すべての面で最もすぐれたものを持つ人。

ア なぜなら      イ ただし      ウ さらには



### 練習 3

次の各文の（ ）にあてはまる接続語を  から選び、記号で答えなさい。（同じものは二度使えない）

- 1 長年、運動をしてきました。（ ）体力には自信があります。
- 2 木は、木材になってもまだ生きています。（ ）成長を続けているのです。
- 3 人間は足だけで歩くようになりました。（ ）脳が発達し始めました。
- 4 平凡な犯罪ほど多くの場合よくわからない。（ ）そこには人の推理を引き出すような目新しさやきわだった特徴がないからね。
- 5 ぼくは剣道を習っています。（ ）ぼくの母はなぎなたを教えてくださいます。
- 6 アヤノちゃんはいいね。美人で（ ）頭がいいんだから。
- 7 「あなたは、よく遅れるわね。」「（ ）起きられないんだもの。しょうがないでしょ。」

ア つまり      イ しかも      ウ なぜなら      エ だって  
オ ちなみに      カ すると      キ だから



接続語ではないけれど、〈説明〉〈補足〉の接続語と同じような動きをする言葉があるので注意しよう。

- ▶いわば・要するに・いいかえれば  
=すなわち・つまり
- ▶というのは=なぜなら
- ▶そうはいうものの=もっとも・とはいえ



### ディベート

練習 2 の 1 のような討論を「ディベート」と言います。ある一つのテーマについて（ここではりんごが好きか、嫌いか）自分の本心とは関係なく、肯定か否定かどちらかの側に立ってお互いに討論しあう一種のゲームです。

討論のテクニックを身につけるのにはもってこいのゲームで、慣れていないとどこかの国の政治家のように、国際会議などで、なかなか主導権がとれませんね。